

北海道の農業の実態・農家さんの思いを知るための企画！ 「オンラインテクニカルツアー（農業編）」

1. はじめに

青年技術士交流委員会では、令和2年11月27日に、オンラインテクニカルツアー（以下、オンラインTT）（農業編）を開催しました。オンラインTTでは、参加者に事前収録した取材動画等のオンライン視聴や農産加工品の試食体験をしてもらうことにより、北海道の農業の実態や実際に農産物を生産している農家さんの思いを知ってもらうことで、農業に対する理解を深め、異分野の技術者も農業について今一度考える機会となることを目的としました。本企画は、日本技術士会 北海道本部 青年技術士交流委員会として、初のオンラインTTでもあり、農業土木を専門とする長内技術士を中心に企画・運営しました。

2. 開催概要

開催日時：令和2年11月27日（金）19:00～20:45

開催内容：①農業土木・農村環境を知ってもらう！（運営幹事の説明）、②農家さんの思いを知る！（農家さんへの取材動画、運営幹事の補足説明）、③農産加工品の試食体験！

開催方法：Zoom ミーティング

対象者：青年技術士交流委員会幹事 12 名

運営幹事：長内、赤根、村上（筆者）

3. オンラインTTの内容

（1）農業土木・農村環境を知ってもらう！

はじめに、長内技術士による農業の実態や実務の紹介等、農業に関する知識・情報を参加者に説明しました。専門的で難しい内容ではありませんでしたが、日本の農業全般の話から実務レベルの話まで順を追って丁寧に、統計情報等も織り交ぜながらわかりやすく説明をして頂きました。参加者にとっては、とて

も理解しやすく農業に関心を持ちやすい内容でした。

（2）農家さんの思いを知る！

オンラインTTの中盤では、事前に収録した農家さんへの取材動画をバスツアー形式で参加者に視聴してもらいました。取材した農家さんは、「株式会社 esaki ジョージ農園」の代表取締役 江崎佑（えさき ゆう）さんです。

江崎さんは、名古屋出身で、大学から北海道に移り住み、農業について学んでいます。現在は長沼町で農業経営者としてブロッコリー、スイートコーン、ブルーベリー、ハスカップ等を栽培しています。

事前の取材動画では、江崎さんの農業に対する思い、農業を中心とした日本の食環境・観光等に関する今後の展望を取材させていただきました。その他、実際に栽培しているブルーベリー・ハスカップ畑や保有している農業機械をご紹介いただき、その映像を参加者に視聴してもらいました。

また、オンラインTT中は、都度、長内技術士から参加者に対して農業の技術的な知識を問うクイズを出題し、参加者がより農業に関心を持つような工夫も行いました。



写真-1 江崎さん(右)へのインタビュー実施状況
(農業への思い等、熱く丁寧に話していただきました)



写真-2 ブルーベリー・ハスカップ畑の案内状況
(果実の育成方法・配置に関する工夫、畑利用に関する
今後の展望等、詳細にお話ししていただきました)

(3) 農産加工品の試食体験！

オンライン TT の後半は、参加者に事前配布しておいた農産加工品の試食を全員で楽しみました。配布した農産加工品は、ハスカップとラム酒、カリンズの2種類のジャムとし、参加者がリアルタイムで試食体験できるよう準備をしました。試食時には、ジャムの特徴について江崎さんの説明動画を視聴し、インタビューによる江崎さんの熱い思いも加わることで非常に美味しく味わうことができました。



写真-3 江崎さんからのジャムの説明状況
(説明動画を拝見しながら、非常に美味しく頂きました)

4. オンライン TT の振り返り

オンライン TT 終了後に、イベントの振り返りを行いました。振り返りでは、「今回の TT はクオリティが高かった」、「今後、別の内容で展開していくことを希望する」等の前向きな意見を頂き、初の試みであるオンライン TT として大きな成果を得られました。

5. まとめ

後日、参加者に対して行ったアンケートでは、「リアルだと1日長時間拘束されるが、オンラインだと短時間で済む」、「遠方でも参加が可能」等の理由から、今回のようなオンライン TT にまた参加したいという意見が挙がりました。また、「オンラインだからこそ普段聞くことのできない情報を深く聞けたのではないか」という意見もありました。今後、別分野のオンライン TT ついても、参加対象者を広げ展開していく可能性が期待されます。

一方で、今後の検討課題として、「専門用語の解説が必要」、「収録動画の音が聞こえにくかった」等の意見があり、改善していくことでさらに良いオンライン企画が可能になると感じました。

今回は、北海道本部の青技交として、初のオンライン TT であったため、試行的に参加対象者を幹事のみとしました。結果、反響が大きく、今後の展開に繋がる可能性も見えたため、技術士の役割・活動等を世に広めるツールとしても、有効活用できると思います。今後は、全国の青技交メンバーとも連携・協力して企画を進める等、社会貢献に繋がる活動を行っていききたいと思います。

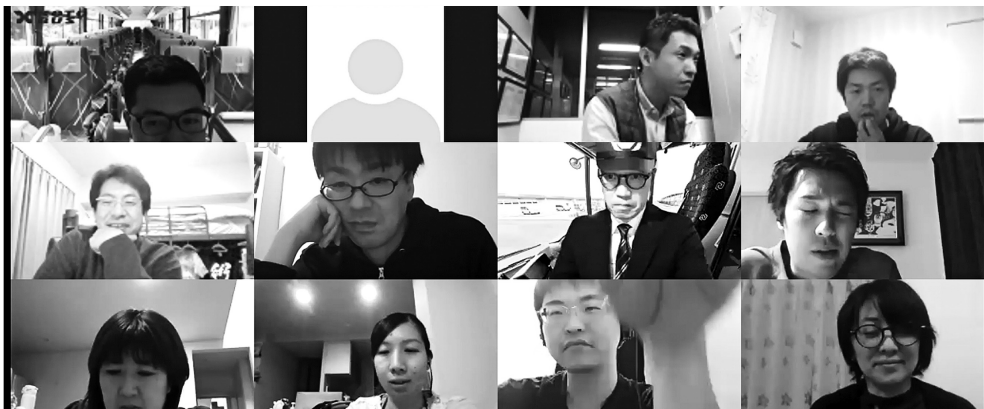


写真-4 オンライン TT の実施状況(皆さん、幹事の説明・クイズ、収録動画視聴、試食とイベントを堪能していました)